

## MODALITY

- ▶ 暖めること（掻痒症の場合には逆に冷やします）、運動、嘔吐、痰を吐くこと、暖かいベッドでの休息、鼻梁をしっかりと押すこと（頭痛時）、ふつうの暑さの夏など
- ◀ 寒さ、午前2～5時、運動（坐骨神経痛や下肢の場合を除く）、アルコール、ビールを飲むこと（胃炎の場合）、夏の突然の酷暑、春と秋、深呼吸

時（咳）、寝起きのときなど  
外気はめまいに関しては>、消化器系の症状は<

## RELATIONS

- ・ Antidote : Arsenicum album, Lachesis
- ・ Complementary : Arsenicum album, Phosphorus, Psorinum

## Kali bromatum 臭化カリウム [指のふるえ]

Potassium Bromide KBr

### BACK GROUND

Kali bromatum は、分子量 119.00、化学式 KBr で、白色の結晶性粉末を呈する臭化カリウムです。水に溶けやすく、吸湿性をもっています。融点は 730℃、沸点 1435℃です。

臭化カリウムは古くから小児の難治性てんかんの治療に使われ、また動物の難治性てんかんの治療薬としても用いられています。この物質は、体内に入ると臭化イオンとなり、脳神経細胞の興奮を抑制する作用があります。そのほか、食品添加物や写真原料、化粧品原料、金属処理剤、工業素材などに利用されています。

毒性は、摂取量によって大きく変わります。軽い興奮、落ち着きの欠如、協調運動障害、性的興奮、性欲欠如、粘膜面の痛覚消失、筋肉痛、不眠、うつ状態、意識混濁、記憶障害、皮膚症状、胃腸症状などがあります。

### FIRST PROVING

Hering と Heimerdinger（1838）

### MIND

Kali bromatum タイプは、保守的で、心の中で道徳的なものと非道徳的なものが葛藤しています。このタイプは、神経質で、うつ状態になりやすく、妄想する傾向があります。疾患が進行すると、誰かに追いかけられている、神の復讐の対象にされている、大きな犯罪に巻き込まれてしまう、毒を盛られてしまうなどと思い込み、妄想性障害になりやすくなります。自分が非常に無力に感じて、記憶力も落ち、精神的に衰弱してしまいます。思春期には、強い不安感があります。

ソワソワして手や指を絶えず動かし続けます。ため息をつくことがあります。喉は渇くほうで、冷たい水を欲しがります。温血タイプです。

### AFFINITY

Kali bromatum は、主に精神、神経系（とくに脳、脊髄、生殖器）、皮膚、喉頭などに作用します。

### CLINICAL APPLICATIONS

#### ■脳神経系

- ・ 精神運動性不安定症：とくに子供で絶えず指を動かしています。脳卒中やてんかんの後遺症で手指がふるえる場合にも考慮します。
- ・ 記憶障害
- ・ 妄想性障害
- ・ 統合失調症
- ・ ヒステリー
- ・ てんかん：体全体にしびれ感があります。しばしば激しい頭痛を伴います。
- ・ 緊張病：体の硬直、拒絶反応、昏迷期が特徴です。
- ・ めまい：足もとの地面がなくなってしまったかのように感じます。
- ・ 不眠症：夜が怖いです。1人にされると怖くて眠れません。死別などによる悲嘆から不眠になることもあります。眠ると歯ぎしりをすることがあります。

#### ■夢遊病

#### ■遺尿症

#### ■呼吸器系

- ・ 発作性の咳
- ・ 持続性のしゃっくり

## ■皮膚

- ・膿疱性にきび：とくに額の部分
- ・結節性のきび
- ・乾癬

## ■その他

- ・落ち着きのない手指：ソワソワするように常に動いています。
- ・小児コレラ：神経症状を伴います。

## ■特異的な感覚

体の一部が大きくなる感覚、しびれるような感じが突然起こる、針でチクチク刺される感覚、ブルブルふるえてしまう感覚、痛覚が消失していく感覚（とくに喉の粘膜の疼痛性痛覚消失）、五感の感覚鈍麻、脳の

しびれ感、動揺を伴うめまいなどがあります。

## MODALITY

➤ 肉体的・精神的な仕事に集中しているとき

➤ 感情的ストレス（怒り・恐怖・不安・悲嘆など）、夜、新月、知的活動、思春期、過度の性交、妊娠中、性的抑制、月経前後など  
周期性があります：夜、午前2時、新月、夏

## RELATIONS

- ・ Antidoted by : Camphora, Nux vomica, Zincum
- ・ Antidoted to : 鉛中毒
- ・ Follows well : Aconite, Spongia, Eugenia

## Kali carbonicum 炭酸カリウム $K_2CO_3$ [頭脳が感情を支配]

Potassium carbonate- $K_2CO_3$

### BACK GROUND

Kali carbonicumは、白色の粉末または顆粒で、比重は2.428、吸湿性があり、水によく溶けます。20℃の水に対して112gの炭酸カリウムが溶けます。この水溶液は、加水分解によって強いアルカリ性を示します。空気中では、炭酸ガスを吸収して重炭酸カリに変わります。炭酸カリウムは、水酸化カリウム溶液に加圧下で二酸化炭素を加えて合成されています。ずっと昔は、木灰を濾過して、その溶液を鉄のポットに入れて、蒸発させることによって炭酸カリウムを得ていました。そのためカリウムは、英語でpotassiumと言います。

主な用途としては、写真現像剤、炭酸ガスの除去回収剤、石鹼、硬質ガラス、医薬品の原料、化粧品原料、染色剤、漂白剤、脱水剤、果実・穀物加工品・菓子類の製造などに利用されています。

カリウムKは、原子番号19、原子量39.0983で、融点63.5℃、沸点765.5℃、密度は0.86g/cm<sup>3</sup>です。金属カリウムは空気中で発火します。生体必須の元素として重要な役割を果たしています。植物の成長に欠かせない肥料の3要素である窒素N、燐P、カリウムKの1つでもあります。

最近では、このカリウム不足が問題になってきています。これは、調理や加工による食品からのカリウム流失、塩化ナトリウム（食塩）の過剰摂取による電解

質バランスのくずれ、利尿降圧剤などの服用によるカリウムの排泄増加などが原因となっています。食物に含まれているカリウムは、食後にその大部分が栄養素とともに、小腸で速やかに吸収されます。小腸で吸収されたカリウムは門脈を経て肝臓に運ばれ、そこから全身の細胞組織へと運ばれます。

体内に存在するカリウムの98%は、細胞内に含まれています。生体内でのカリウムは、筋肉組織の収縮活動や神経系の伝達活動、各種酵素反応、内分泌系の調整、細胞内の酸・塩基平衡（pH）の調節、細胞内外の水分バランスをとる役割などに不可欠で、ナトリウムやカルシウムをはじめとする各種ミネラルなどと共同で働いています。

健康な人の場合、通常の10倍量のカリウムを摂取しても、細胞内外のカリウム濃度差を維持するしくみのおかげで、血中カリウム濃度に変化はありません。余分に摂取されたカリウムは、細胞内に一時蓄えられて、腎臓や皮膚から排泄されます。しかし、腎臓や副腎に機能障害がある人では、カリウム排泄量が減少するため、高カリウム血症を起こすことがあります。

高カリウム血症は、血液中（細胞外）のカリウム濃度が高くなった状態（血漿中カリウム濃度が5.5mEq/ℓ以上/正常値は3.5～5.0mEq/ℓ）で、体内カリウム量の増加と細胞から血中へ放出されるカリウム量が多い場合の2つがあります。たとえば、外傷な